

2023年G7貿易大臣会合大阪・堺推進協力協議会設立趣旨（案）

世界は、ロシアによるウクライナ侵略、エネルギー供給、食料安全保障、気候変動などの人々の生命と暮らしを脅かす課題が山積しています。

こうした課題を主要国の首脳が協議するG7サミットが、2023年に日本において開催されます。

2025年大阪・関西万博は、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、人々の行動変容と時代を切り拓く新たなイノベーションを巻き起こすとともに、世界との交流を通じ、新たな知見や英知が生まれることで、世界的課題の解決に貢献する場であります。

多くの国や人が交流する万博開催の2年前に、人と人、モノとモノをつなぐ貿易を担当する大臣による国際会議が、中世の時代から国際貿易都市として繁栄を極めた、ここ大阪・堺で開催されることは、世界を結び付け、いのちをともに大切にするという万博のテーマにも合致するものであり、その成功に大きな弾みとなります。

大阪・堺は、世界文化遺産に登録された「百舌鳥・古市古墳群」や日本の精神文化に影響を与えている「茶の湯」など、古くから海外と交流し発展を遂げてきた都市であります。

海外から多くの人々が参加するG7貿易大臣会合において、大阪・関西万博の取組みや、大阪・堺の魅力を世界に発信することは、大阪・堺のプレゼンスを向上させる、絶好の機会となります。

こうした意義を有するG7貿易大臣会合の成功に向け、大阪・堺の総力を結集し、幅広い協力を得るため「2023年G7貿易大臣会合大阪・堺推進協力協議会」を設立し、万全の体制でG7貿易大臣会合に向けた準備を進めるものです。